

神戸国際大学
キリスト教センター通信

第128号
2025年4月22日

「今日、今を大切に」

神戸国際大学レイチャプレン
八代 良寛



**“だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。
その日の苦勞は、その日だけで十分である”**

(マタイによる福音書 6章34節)

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

この4月からレイチャプレンとして着任いたしました、八代良寛と申します。どうぞよろしくお願いいたします。早いもので、入学式からすでに2週間が経ちました。新しい環境、初めての出会い、慣れない毎日…期待と不安が入り混じるこの春、みなさんはどんな気持ちで過ごしているでしょうか。

私たちは日々、たくさんの予定や課題に囲まれて生活しています。学生であればレポートや試験、就職活動に部活動やアルバイト、また家族や友人、恋人との関わり。そんな中でふとさまざまな不安に駆られることがあるかもしれません。「明日」の試験や試合、失敗できないプレゼンなど、将来のことをについて考えてしまいます。もちろん先のことを考えることは必要ですが、未来への不安にとらわれすぎると、「今日」という時間の価値を見失ってしまいます。このイエスの言葉は、「今日」に目を向け、与えられた一日、心を込めて生きようという愛と励ましのメッセージでもあります。「今日」という日に目を向けること。「今日」という日を大切に生きていくこと。その積み重ねによって、「明日=未来」は形づくられてゆくのではないのでしょうか。

私たちはつい「大きな成果」や「目に見える結果」ばかりを追いかけてしまいがちですが、それらはすべて、目には見えにくい日々の小さな積み重ねの上に成り立っています。そして、その積み重ねが、やがて確かな実を結び、自分自身を支える土台になっていくと思います。

この大学生活の中で、楽しいことも、嬉しいことも、そして少し苦しいことも、きっとたくさん経験するでしょう。そのすべてが、あなたの人生を豊かにしてくれます。だから焦らず、「今日」という1日を大切に、今できることを、しっかりコツコツやる、自分のペースで歩いていってください。



そしてもし、少し立ち止まりたくなったとき、心が疲れてしまったときは、どうぞチャペルに来てください。信仰があってもなくても大丈夫です。チャペルは、静かに自分自身と向き合える場所です。忙しい日常の中で、ほんの少し深呼吸するような時間を過ごしてもらえたら嬉しいです。

「明日のことまで思い悩むな。」

その日の苦勞を受け止めつつ、今日という一日を感謝とともに生きる。

その歩みの中に、神さまの恵みと導きがあるように祈っています。